



### 誠之館8号館(養心館)が竣工 千里山キャンパスの体育施設が充実



千里山中央体育館東側にあった射撃場が解体され、射撃場、柔道場、剣道場、アーチェリー場を備えた誠之館8号館(養心館)が昨年12月16日に竣工しました。鉄筋コンクリート造り一部鉄骨造り、地上2階建て、延べ床面積は2,257.92㎡。

1階に射撃場、2階に柔道場と剣道場、屋上にアーチェリー場が設けられ、専用練習場として十分な面積で、設備も整っています。

「養心」とは儒教の古典に出てくる言葉で、学生スポーツの中でも、とりわけ心の冷静さ、平常心が必要とされる競技にふさわしいことから名付けられました。



### 留学生が十日戎の福娘に 笑顔で「世界中の懸け橋に」



「えべっさん」の名で親しまれている今宮戎神社(大阪市浪速区)の十日戎の福娘に、留学生5人を含む7人の本学学生が選ばれ、1月9日～11日、笑顔で福笹を手渡す役を務めました。44人の福娘の中から、さらに4人の代表の1人に選ばれたのは、経済学部3年の付文超さん。代表選考の際、「世界中の懸け橋になりたい」と自己PRした付さんは、「3日間はあっという間で、貴重な経験を得ることができた」と話しています。

### 東京センターが移転、拡充 東京駅直結、大教室もある多目的拠点

東京駅近くのダイヤ八重洲口ビルにある東京センターが、今春、JR東京駅日本橋口直結のサピアタワー9階に移転します。サピアタワーは、地上35階、地下4階、塔屋1階建てのJR東京駅直結の新たなランドマークとなるビル。センターの広さも従来の229㎡から637㎡へとスケールアップし、サービスの内容も首都圏での就職活動の拠点、受験生への入試情報の発信拠点、卒業生や父母の活動サロン、産学官の異業種交流の基地として、ますます充実します。200人収容可能な教室を備え、各種公開講座などの開催も可能となります。



### 「関西大学 月が丘住宅」が竣工 生活の質を向上させる「生活支援工学」の構築へ

平成18年度私立大学学術研究高度化推進事業「学術フロンティア推進事業」に採択されたプロジェクト「高度福祉社会のQOL改善に寄与する生活支援工学構築のための実践的研究」の研究拠点となる「実証実験住宅」が、「関西大学 月が丘住宅(QOL改善提案モデル)」として、2月22日に竣工しました。

本プロジェクトを担当する「生活支援工学研究ユニット」は、内山寛信教授(研究代表者)、倉田純一助教授(幹事)など10人で構成され、機械工学、建築学、材料工学の各分野が連携し、共同研究を行います。高齢者や障害者の生活の質(QOL:Quality of LifeまたはQuality of Living)を向上させ、社会への参画をあきらめない自立した生活を支援するために、各分野で取り組まれていた工学的解決策を統合し、それぞれの効果を高める「生活支援工学」の構築を目的としています。

関西大学 月が丘住宅は、地域や医療機関などに開放して研究成果を社会へ公表・還元する場としても利用されます。当事者である高齢者・障害者、医療・福祉関係者の直接的な評価を得て、「実践的に使える生活支援工学」の構築を目指すものです。

